

政策6 観光の振興

No	象徴的指標	測り方（数値）	単位	H26 (初期値)	H27	H28	H29	【前期目標値】 H30	R1	R2	【R4目標値】
4	国内外の多くの人々が天草を訪れていること	多くの来訪者（観光客等）が天草を訪れていると感じる市民の割合	%	20.2	23.9	36.1	35.7	【40.0】 47.0	43.4	49.8	【51.9】

施策計画		成果指標名	単位	現状値 (H26等)	【前期目標値】 H30(※H29)	R1	R2	目標値 (R4年度)
I	地域資源を活かし、周遊・滞在・交流型観光につなげる「魅力づくり」	宿泊観光客数(延べ人数)	人/年	293,684	【-】 259,771※	280,180		【320,000】
II	観光を支える組織、戦略的な情報発信の「仕組みづくり」	観光客データの収集(動向調査)	回	—	【-】 0※	4	2	【2】
III	持続的な観光振興のための「担い手づくり」	市民向け講座等の実施	回	—	【-】 0※	3	1	【5】

●環境指標への反映（分析）

令和元年度末から「新型コロナウイルス感染拡大」が顕著となってきたことから、感染防止のため令和2年4月15日から5月末まで公共施設を閉鎖したこともあって、観光客は激減した。このことから、大きな打撃を受けた観光関連産業を支援すべく、早急な対策として令和2年6月から市による誘客キャンペーンを実施。その後、県や国のGOTOキャンペーンも相次いで実施され、これまでで取り組んできた受け入れ態勢整備等と融合することにより、環境指標値が49.8%までに上昇したと分析している。

●令和2年度の取り組み

- ◆**施策計画Ⅰ 地域資源を活かし、周遊・滞在・交流型観光につなげる「魅力づくり」**
 - 新型コロナウイルス感染症状況等に配慮しながら、6月から3月末まで段階的に市民向け、県民向け、及び県外からの誘客キャンペーンを実施し、早急かつ継続的に観光関連事業者の支援を図ることで、観光需要の落ち込みの最小化に向けて積極的に取り組み、合わせて12,359人泊の誘客があったことから一定の成果を上げている。
 - 3月には道の駅宮地岳かかしの里のオープンにあわせて5つの道の駅を巡るスタンプラリーを開催し、応募数1,416通(延べ訪問数7,080人)となるなど、市内の観光スポットの周遊を促進することで、滞在時間の延長と観光消費の拡大が図られるなどの成果があった。
- ◆**施策計画Ⅱ 観光を支える組織、戦略的な情報発信の「仕組みづくり」**
 - 新型コロナウイルス感染症の影響により4回の実施を予定していた観光客の動向調査が下半期2回の実施となったが、令和元年度に実施した調査との比較等により、コロナ禍における傾向を分析検証することで、誘客やイメージの定着に向けた広告宣伝等、様々な観光施策にいかすべく取り組んだ。
- ◆**施策計画Ⅲ 持続的な観光振興のための「担い手づくり」**
 - 観光振興アクションプラン(平成31年4月～)の策定に参画いただいた天草市観光開発コンソーシアム(ATC)によりアクションプランの進捗について、3つの柱である「魅力づくり、仕組みづくり、担い手づくり」の実績等の検証を行った。計画では、各分野別に今後の取り組みの方向性や展開についての協議・検討、先進地からの講師招聘や研修を行う予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあって予定どおりには進まなかった。また、住民向けには、地元コミュニティエフエム放送局(みつばちラジオ)で観光情報番組「あまくさカラー」を毎週土曜日に放送することで、誘客やPRとあわせて、観光資源や各地域での取り組みに対する理解を深める事業に取り組んだ。

●課題

- ◆**施策計画Ⅰ 地域資源を活かし、周遊・滞在・交流型観光につなげる「魅力づくり」**
 - それぞれの事業が利害関係者でもある観光事業者等との協調、連携が必要であり、協議調整に手間や時間を要するが、新型コロナウイルス感染症という緊急事態下であったため、相反する意見等はあったものの比較的速やかに合意が図られ、事業の推進・展開が可能となった。この経験をいかしながら、継続性の高い観光振興を図るために、魅力向上に向けた関連事業者等の主体的かつ独自の取り組みへとつながる取り組みが必要である。
- ◆**施策計画Ⅱ 観光を支える組織、戦略的な情報発信の「仕組みづくり」**
 - 観光動向調査や車両ナンバー解析システム等で得られたデータ(数字)を様々な観点から分析し、どのように施策に生かすことができるかが課題となる。
 - データの精度を向上させるためには、一定量のデータの確保が必要であり、また、データの分析についても一定の時間や労力が必要となる。
- ◆**施策計画Ⅲ 持続的な観光振興のための「担い手づくり」**
 - 持続性の高い観光振興のためには、観光事業の担い手の確保と主体的な取り組みが課題となっている。

●目標をめざした令和3年度以降の取り組み

- ◆**施策計画Ⅰ 地域資源を活かし、周遊・滞在・交流型観光につなげる「魅力づくり」**
 - これまでの行政主体から事業者主体の観光振興へ脱却すべく、行政が本来果たすべき役割(ハード整備、計画や戦略の策定・実施・検証など)を見極めながら、そのための予算の執行・計上、やり方の改善(データに基づいた誘客戦略の展開等)により宿泊客の増加につなげていく。
 - 観光協会の役割についても再度協議を行い、まずは委託事業の厳密な検証や計画の策定等から存在意義を高められるよう取り組んでいく。
 - これまでに実施してきた観光動向調査や宿泊客数調査とあわせて、令和2年度末に稼働した車両ナンバー解析システムのデータのほか、各種事業で得られる誘客データ等を駆使したより精度の高い観光動向を活用し、高確率で効果・成果が見込まれる施策を速やかに展開することで宿泊客の増加を図る。
- ◆**施策計画Ⅱ 観光を支える組織、戦略的な情報発信の「仕組みづくり」**
 - より多くのデータ(標本)を収集し、データの信頼性・確実性を高めることが必要と考えている。そのため事業者等の調査への積極的な協力を促すとともに、データ分析を含む体制の整備、職員のスキル向上を図る。
 - データやその分析結果を共有し、行政や観光協会の施策だけでなく、各観光事業者の事業・誘客に活かすための仕組みづくり、観光全般のマーケティング機能の強化に取り組んでいく。
- ◆**施策計画Ⅲ 持続的な観光振興のための「担い手づくり」**
 - 観光(振興)に関する情報を市外だけでなく、コミュニティエフエムでの番組放送等を通じて市民向けにも発信することで観光振興事業の地域への貢献度、重要性を認識いただき、担い手の確保、スキルアップに向けて継続して取り組む。
 - ATCの委員等と連動し、観光事業経営者等の主体的な誘客(観光振興の取り組み)へとつながるよう取り組み、自発的な事業展開へと向けて継続的に取り組みを進める。

政策7 観光施設の充実

No	象徴的指標	測り方（数値）	単位	H26 (初期値)	H27	H28	H29	【前期目標値】 H30	R1	R2	【R4目標値】
4	国内外の多くの人々が天草を訪れていること	多くの来訪者（観光客等）が天草を訪れていると感じる市民の割合	%	20.2	23.9	36.1	35.7	【40.0】 47.0	43.4	49.8	【51.9】

施策計画	成果指標名	単位	現状値 (H26等)	【前期目標値】 H30(※H29)	R1	R2	目標値 (R4年度)	
I	観光拠点施設の整備	観光拠点施設等への来訪者数	人/年	0	【-】 31,618※	183,279	148,463	【200,000】
II	観光施設の活用	観光施設の利用者数	人/年	963,118	【100,000】 955,289	1,008,550	681,706	【1,200,000】

●環境指標への反映（分析）

道の駅は、政策のめざす姿「拠点施設の配置が良くなり」に繋がり、新たな周遊ルートを生み出し、観光客の回遊性、滞在時間が延長され、環境指標の向上に繋がったものと分析している。令和3年3月には、本市5つ目の道の駅となる宮地岳かかしの里がオープン。本市下島の中央部に位置することとなった本駅の設置により、今後、さらなる回遊性の高まりが期待される。

●令和2年度の取り組み

◆施策計画Ⅰ 観光拠点施設の整備

- 宮地岳観光交流施設については、天草市5番目となる「道の駅」の登録が完了し、令和3年3月、「道の駅」宮地岳かかしの里として開業することができた。
- コロナ禍の中で、観光拠点施設等への来訪者数は減少しているものの、今後は、「道の駅」を拠点とし、観光客の回遊性が高まり、観光拠点施設等への来訪者の増加を図っていく。

◆施策計画Ⅱ 観光施設の活用

- うしぶか海彩館レストラン、リップランド物産館の空調改修を実施し、緑の村及び砂月海水浴場のトイレの改修に取り組んだ。
- かねてより老朽化等による臭い漏れなどが懸念されていた道の駅有明トイレの改修を実施し、臭いの元を遮断するとともに、和式から洋式に便器の変更を行うなど利用者の利便性の向上を図った。
- 老朽化した藍の岬キャンプ村を廃止し、キャンプサイトと海水浴場のみ管理を行うなど施設のスリム化にも取り組んだことで、管理運営費の削減につながった。

●課題

◆施策計画Ⅰ 観光拠点施設の整備

- 観光拠点施設整備については当初の計画より遅れが生じたものの、順調に整備を行っている。今後は、各施設において新型コロナウイルス対策の徹底を図りながら天草島内の「道の駅」連携等ソフト事業による天草島内周遊性の向上に向けた取り組みを行わなければならない。

◆施策計画Ⅱ 観光施設の活用

- 観光振興課所管の施設は150を超えていることから、支所と協議を行いながら施設の計画的な統廃合を進めるとともに、施設の修繕や観光トイレの洋式化など観光施設の魅力向上に向けた取り組みを行っているが、なかなか進捗をみないのが実情である。
- 老朽化した施設の修繕や利用収入の減少による指定管理料の増加など施設管理経費の増加に歯止めがきかない状況である。
- 昨年度末からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動自粛等により、施設来訪者が激減しており、指定管理者らの経営状況も悪化しており、予断を許さない状況である。

●目標をめざした令和3年度以降の取り組み

◆施策計画Ⅰ 観光拠点施設の整備

- 「道の駅」や観光拠点施設代表者による協議会を設立し、食や特産品などを活用したキャンペーン等各施設からの意見を集約する場を設け、積極的な販売促進活動につなげていく。
- 新たな観光拠点施設整備として、棚底城ガイダンスセンターの設立に向け、文化課、倉岳支所と連携し、地域との協議を行いながら施設整備に向けた検討を実施する。

◆施策計画Ⅱ 観光施設の活用

- 施設管理経費縮減のため、計画的な施設の改修だけでなく、思い切った施設の廃止、統合など抜本的な施設の見直しが必要である。今後、支所との協議を行いながら、利用度が低く現状のニーズに答えきれない施設の洗い出しを実施するとともに所管課への移行を含め、施設の整理を図る必要がある。
- 利用度の低い施設の廃止・統合を進めるなど、スクラップアンドビルドを図ることで観光施設の魅力維持を図る。
- 既存施設において新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、利用者にとって安心な施設対応を行っていくとともに、「新たな生活様式」に適合した施設の在り方の検討を行い感染拡大防止に向けた取り組みを継続する。

政策8 世界遺産の保全

No	象徴的指標	測り方（数値）	単位	H26 （初期値）	H27	H28	H29	【前期目標値】 H30	R1	R2	【R4目標値】
5	市民が歴史や文化などに関心を持っていること	次の世代に歴史や伝統・文化が継承されていると感じる市民の割合	%	22.2	23.0	30.4	32.8	【34.9】 35.9	31.0	33.4	【47.5】

施策計画	成果指標名	単位	現状値 (H26等)	【前期目標値】 H30(※H29)	R1	R2	目標値 (R4年度)
I 世界遺産の保存管理の推進	崎津集落の世界遺産の取り組みを知っている市民の割合	%	86.1	【92.0】 85.3	75.3	72.3	【97.8】
	崎津集落の景観が保たれていると感じる市民の割合	%	45.0	【54.1】 63.8	63.4	65.0	【70.7】

●環境指標への反映（分析）

崎津ガイドセンターでは、令和2年度は56,862人とコロナ禍の影響で前年度の55%に落ち込んだが、世界遺産ボランティアガイドの観光客向け案内は定着し、河浦中ボランティアガイドは毎年新1年生が就任するなど世代交代も続いており、新たに天草市内の他校中学生が直接、河中生徒より世界遺産についての説明を聞く授業が実施されている。

また、崎津集落の世界文化遺産登録で市に義務付けられた「継続的な調査」の一環で、天草コレジヨがあったとされる一町田地区の試掘を実施し、約200点の「天草での南蛮貿易の証」となるものの出土や、3月の市民向け説明会するなど、市民の歴史文化に対する関心の高まりと次の世代への歴史文化の継承に関する取り組みにより、指標の上昇につながっていると分析している。

●令和2年度の取り組み

◆施策計画 I 世界遺産の保存管理の推進

- ・世界遺産の保存管理に係る事業として、講演会等2回、特別展1回、出前講座4回、ラジオ出演1回、ワークショップ4回、みなと屋常設展リニューアル1回を行った。出前講座・イベント出展等は、新型コロナの影響で実施数が著しく減少した。
- ・予定していたみなと屋企画展は、文化課企画展『三宅藤兵衛展』として、天草キリシタン館で統合・実施したため、開催を見合わせた。みなと屋では常設展のリニューアル（ウマンテラさまの展示）を行い、好評を博している。
- ・世界遺産周知のため、プラバンワークショップを三宅藤兵衛展開催時に、キリシタン館で4回実施。
- ・世界遺産定期モニタリングのための基礎図面作成として、崎津諏訪神社及び旧崎津教会堂跡の石積について三次元測量データの作成を実施。
- ・世界遺産の保全の根幹となっている「天草市崎津・今富の文化的景観」に関して、将来への景観保護の継承を目的に、これまで取り組んできた景観へ配慮した公共工事等を整理した『文化的景観議論整理業務委託』を実施した。
- ・文化的景観整備管理委員会は、コロナ禍のため、対面会議が実施できず、熊本県在住委員による現地指導1回及び全委員対象の書面決議1回により代替した。
- ・世界遺産保全アクションプランの一環である「調査研究の継続」に関して、天草キリシタンの原点である河浦町河浦地区において、天草氏関係遺跡の試掘調査を実施した。各所で戦国時代頃の遺跡が新規発見され、南蛮貿易との可能性を示唆する貴重な遺物も出土した。3年3月に実施した現地説明会には、コロナ禍ながら約40名の市民が参加。
- ・長崎県との共同施策として、「巡礼の道」の設定調査を実施。

●課題

◆施策計画 I 世界遺産の保存管理の推進

- ・世界遺産は登録が目的ではなく、世界が認めた普遍的価値を次世代へ保全・継承することにある。引き続き、あらゆる機会において、情報発信及び啓発活動を実施する必要がある。
- ・令和2年3月策定の「崎津・今富の文化的景観」整備活用計画の実行と進捗管理を行っていく必要がある。

●目標をめざした令和3年度以降の取り組み

◆施策計画 I 世界遺産の保存管理の推進

- ・世界遺産の保全の根幹となっている「崎津・今富の文化的景観」の保全について、更に周知啓発を図ることから、地元メディアを活用した新たな情報発信を実施する。
- ・平成24年3月に作成した「崎津・今富地区の保存計画」を現状に沿った計画へと見直しを行い、次年度以降の施策に活かしていく。
- ・熊本大学と連携して、今富地区に案内看板をする。
- ・進捗状況を確認しながらやる事の見直しを行い、「崎津・今富の文化的景観」整備活用計画に沿った取り組みを推進するとともに、メディアや出前講座、企画展等により情報発信を行う。

政策9 大地の遺産を活用した活動の推進

No	象徴的指標	測り方（数値）	単位	H26 (初期値)	H27	H28	H29	【前期目標値】 H30	R1	R2	【R4目標値】
5	市民が歴史や文化などに関心を持っていること	次の世代に歴史や伝統・文化が継承されていると感じる市民の割合	%	22.2	23.0	30.4	32.8	【34.9】 35.9	31.0	33.4	【47.5】

施策計画	成果指標名	単位	現状値 (H26等)	【前期目標値】 H30(※H29)	R1	R2	目標値 (R4年度)	
I	自然資源を活用した地域の魅力の向上と情報の発信	天草自然資源に関する拠点施設の入込客数	人	6,919	【-】 9,601※	8,385	3,466	【10,000】

●環境指標への反映（分析）

ホームページ等の活用による幅広い情報発信や、白亜紀資料館等で開催する化石セミナー及び特別展等の充実により、確実に認知度は高まっている。今後整備予定の博物館の建設により資料館の休館を余儀なくされるが、化石採集体験をはじめとするフィールドを活かした体験や、他県博物館との共同研究など、継続して普及活動に取り組む必要がある。

●令和2年度の取り組み

◆施策計画 I 自然資源を活用した地域の魅力の向上と情報の発信

・令和2年3月31日をもって日本ジオパークネットワークを退会し、令和2年度からは、「海にうかぶ博物館 あまくさ」活動計画に基づき、天草2市1町が連携し、天草独自の自然資源を活用した取り組みを行っている。

○主な事業内容

- ・天草自然資源学術支援事業（登録団体：6団体 活動支援：7回）
- ・自然学習出前授業（小学校：3校 中学校：3校）

●課題

◆施策計画 I 自然資源を活用した地域の魅力の向上と情報の発信

- ・豊富な天草の自然資源を、行政と地域住民が一体となり、保全・活用・情報発信などを行っていくことが効果的と思われることから、役割の研究・分担を進めながら、多様な取り組みを模索する必要がある。
- ・現在の白亜紀資料館は、専用の建物でなく、展示スペースや活動内容に制約が多いため、拠点施設としてふさわしい機能を持った施設整備が急務である。

●目標をめざした令和3年度以降の取り組み

◆施策計画 I 自然資源を活用した地域の魅力の向上と情報の発信

- ・天草2市1町が連携して実施する、「海にうかぶ博物館あまくさ」活動計画に基づき、天草の自然資源を活用した民間団体との連携強化や、天草にある歴史・文化遺産と連動した広域的な周遊ルートを検討し、天草の魅力向上に繋げていく。
- ・豊富な天草の自然資源を効果的に情報発信していくための体制強化と、広域的な視点での回遊ルートを構築することにより、回遊性の促進及び交流人口の増加に繋げる。
- ・白亜紀資料館改築基本計画に基づき、既存施設の解体工事を令和3年度内に完了し、令和5年10月の「御所浦恐竜の島博物館」の開館に向けて取り組む。

政策10 文化の振興

No	象徴的指標	測り方（数値）	単位	H26 （初期値）	H27	H28	H29	【前期目標値】 H30	R1	R2	【R4目標値】
5	市民が歴史や文化などに関心を持っていること	次の世代に歴史や伝統・文化が継承されていると感じる市民の割合	%	22.2	23.0	30.4	32.8	【34.9】 35.9	31.0	33.4	【47.5】

施策計画		成果指標名	単位	現状値 (H26等)	【前期目標値】 H30(※H29)	R1	R2	目標値 (R4年度)
I	文化活動の推進、歴史と文化の保存・継承	市の芸術文化事業に触れる機会があると思う市民の割合	%	24.9	【36.0】 31.9	31.8	26.5	【47.1】
II	文化施設の整備・活用	市民会館利用者数	人/年	215,901	【250,000】 247,529	239,254	92,582	【288,000】
II		資料館入館者数	人/年	148,774	【153,000】 118,459	85,905	37,204	【158,000】

●環境指標への反映（分析）

コロナ禍により多くの文化事業が中止や延期を余儀なくされた。いっぽう今年度新たに取り組んだ郷土の偉人「宇良田唯」顕彰及び天草のPR事業は好評であり、コロナ禍における歴史文化の情報発信により指標の上昇につながったと分析している。

●令和2年度の取り組み

◆施策計画Ⅰ 文化活動の推進、歴史と文化の保存・継承

- ・市民の芸術文化への触れ合う機会の創出及び文化の保存と継承を図るため、次の事業を行った。
- ・芸術文化振興事業・・・いきいき芸術体験教室等3校（307人）、ふれあい出前コンサート8校（1,638人）、ギャラリー四季264日開館（4,264人）
- ・市民シアター事業・・・上映作品12本（106回・1,564人）
- ・文化振興等補助金・・・文化活動補助3団体、五足の靴顕彰事業短歌出詠1,323首、市民芸術文化祭2地区1,303人、民謡全国大会（中止）
- ・棚底城跡調査整備事業・・・除草作業5回（延べ75人）、支障木撤去1回（延べ4人）
- ・文化財等整備事業・・・修繕等8件（山口の施無畏橋説明板貼替、三宅藤兵衛の墓標柱修繕、久玉城跡災害復旧ほか）
- ・文化財等整備費補助金・・・2件（市指定文化財：姫野河内のモッコク、県指定文化財：栖本太鼓踊り）

◆施策計画Ⅱ 文化施設の整備・活用

- ・施設の利用者及び入館者数の増加を図るため、利便性向上及び施設の延命化を目的とした計画的な施設整備及び修繕を行った。
- ・天草市民センター：工事4件、修繕8件、利用者71,507人
- ・牛深総合センター：修繕4件、利用者21,075人
- ・本渡歴史民俗資料館：修繕5件、入館者2,602人
- ・五和歴史民俗資料館：工事1件、修繕6件、入館者1,254人
- ・その他の資料館：修繕1件、入館者351人
- ・文化交流館：修繕6件、入館者6,523人
- ・キリシタン館：工事2件、修繕5件、入館者15,361人
- ・ロザリオ館：修繕10件、入館者7,154人
- ・コレジヨ館：工事1件、修繕8件、入館者3,959人

●課題

◆施策計画Ⅰ 文化活動の推進、歴史と文化の保存・継承

- ・コロナ禍における芸術文化に触れる機会の創出が課題となっている。
- ・文化財等整備補助金は、個人所有の指定文化財の修繕に係る費用の一部を助成するものであり、世代交代した所有者の理解と協力、申請が必要である。

◆政策計画Ⅱ 文化施設の整備・活用

- ・経年劣化による施設のランニングコスト対策。
- ・施設利用者の伸び悩み。

●目標をめざした令和3年度以降の取り組み

◆施策計画Ⅰ 文化活動の推進、歴史と文化の保存・継承

- ・ネット配信などコロナ禍に適した芸術文化事業を実施するとともに、魅力を損なうことのないような見せ方を工夫した取り組みを行う。
- ・文化財の保存・継承・活用は、所有者を含めた市民の文化財に対する意識高揚につながるため、今後も事業継続するとともに周知啓発にも努める。
- ・地元メディア等で紹介し、市民に伝えていく。
- ・市民が日常で芸術文化について話題にしていただけできるよう、市の公共施設、地元ラジオ、市広報等において積極的に情報発信を増やしていく。

◆施策計画Ⅱ 文化施設の整備・活用

- ・施設の延命化を図るための計画的な修繕を行う。
- ・関連施設連携の企画展等の開催や、情報発信・啓発活動を行い、集客増を図る。
- ・指定管理者に対してモニタリング等を通じ現状を把握し、適正な運営管理及び利用者へのサービス向上に取り組む。
- ・魅力ある資料館整備のための「整備活用実施計画」及び「文化観光推進法に基づく計画」の策定を行う。
- ・資料館の整備活用実施計画に沿った取り組みを、関係部署・団体と連携して推進する。